

秋田県立湯沢翔北高等学校専攻科生産技術科

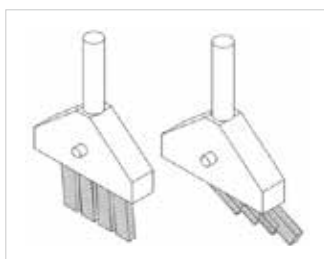
令和6年度 パテントコンテスト優秀賞

「毛先可変小ぼうき」特許取得

「令和6年度パテントコンテスト」において、秋田県立湯沢翔北高等学校専攻科の宮城大聖さん(2年・当時)と湯沢翔北高等学校の新山幸大さん(1年・当時)の考案した作品「毛先可変小ぼうき」が、優秀賞を受賞し、このたび特許を取得しました(特許第7702224号発明の名称『ほうき』)。

「毛先可変小ぼうき」図

本体内部に角度調節機構を備え、毛先の形状を自在に変形可能。1本で効率的に掃除できるよう設計。



▲授賞式の様子

写真左：宮城大聖さん、写真右：新山幸大さん

「パテントコンテスト」は学生に知的財産制度への理解を深めてもらうことを目的に開催。若者が日常生活や学習の中から生み出したアイデアを応募し、優秀賞を受賞したものは、弁理士のサポートのもと、特許権の取得までの手続きを実体験できる(特許出願に必要な経費は特許庁が負担)。

同校の取り組み

湯沢翔北高等学校は、令和6年度「知財力開発校支援事業」指定校に採択され、日頃から知財教育の充実に努めています。生徒たちは、その一環として知的財産への理解を深めるとともに、3Dデザイン加工技術の知識を活用しながら、ものづくりに取り組んでいます。

身近な不便をアイデアに

宮城さんと新山さんはパテントコンテストへの応募を前に、どんな発明ができるのか悩んでいました。そんな時に、知的財産の専門家の方から「身近な不便を解決するといったアイデアにつながる」と助言を受け、「毛先可変小ぼうき」を考案。日々の授業で使う工作機械が、通常のほうきでは掃除がしにくいという身近な不便から生まれたアイデアです。

今後に向けて

湯沢翔北高等学校専攻科生産技術科の渡邊義典教諭は「これまでの取り組みが評価され特許取得という成



▲新山さん(図案作成中)



▲宮城さん(3次元CADを使用)



▲渡邊教諭(写真左)と新山さん(写真右)

果を挙げられたことは学校として大きな自信となり、今後の活動のさらなる原動力となります」と話し、これからの知財教育のさらなる充実に期待を寄せています。

特許を取得した二人は、「頭の中のアイデアを形にすることや、特許出願の書類づくりなどを経験できたのは大きな財産です。今回学んだことを生かし、技術者として地域に貢献していきたいです」と意欲を話してくれました。

湯沢翔北高等学校専攻科に関することはこちらから

湯沢翔北高等学校ホームページ
<https://yuzawashouhoku.net/major/>

